

1. 事業所運営の基盤整備

評価基準 1：できている 2：改善が必要 3：できていない

R4.3 R5.3 R6.3

1 理念・目標等を踏まえた事業計画の作成と評価に基づくサービスの改善

- 1 理念・基本方針の実現に向けた中・長期事業計画を策定し、定期的に自己評価（進捗状況の確認・評価・見直しなど）を行っている。
- 2 単年度の事業計画を策定し、定期的に自己評価（進捗状況の確認・評価・見直しなど）を行っている。
- 3 事業所の運営状況や今後の方針等、定期的に事業所の運営について職員間で話し合う機会を設けており、今後の事業運営の改善に反映している。
- 4 利用者や家族から評価を受ける仕組みがあり、事業計画の見直しやサービスの改善に活用している。
- 5 関係する多職種など、外部から評価を受ける仕組みがあり、事業計画の見直しやサービスの改善に活用している。

2	2	
2	2	
2	2	
1	3	
1	3	

2 計画的な人材育成

- 6 新任の職員向けに、事業所の理念・基本方針やサービスの提供にかかる基本事項等を学ぶための、標準化された研修計画などが用意され、実施されている。
- 7 本人の意向を反映した職員ごとの育成計画を作成し、当該計画に沿った、OJTや研修を受ける機会の確保等、必要な支援をしている。

2	2	
2	2	

3 人材の配置と体制整備

- 8 必要に応じて、早朝・夜間等の計画的な訪問ができる体制を常に整えている。
- 9 必要に応じて、日曜、祝日、年末、年始に計画的な訪問ができる体制を常に整えている。
- 10 新規の依頼があった場合に、即日に対応もしくは訪問できる体制は常に整えている。

1	1	
2	1	
2	1	

4 経営・労務の管理

- 11 管理者は事業所の財務状況を常定期的にチェックし、経営の安定化に向けた具体的な取り組みに反映している。
- 12 事業所の人事管理において法人の定めた人事基準をもとに、職員ごとの評価などを連携させた人材マネジメントを行っている。
- 13 職員の就業状況や意向を反映し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。
- 14 業務の効率化に向けた工夫として、記録等関係書類の電子化を行っている。

2	2	
2	3	
2	2	
2	1	

5 サービスの標準化とリスクマネジメント

- 15 在宅における「医療ニーズの高い方（人工呼吸器を装着している利用者）へのケア」の提供方法が事業所独自のマニュアル等により、職員への周知・理解が図られている。
- 16 在宅における「終末期ケア」の提供方法が事業所独自のマニュアル等により、職員への周知・理解が図られている。
- 17 利用者等に関してカンファレンス・事例検討を実施する機会を設けており、サービスの改善に反映している。
事故を防止する、あるいは事故が発生した場合の対応方針が、「①医療事故・ケア事故」
- 18 「②交通事故」「③盗難・紛失・破損等」「④災害」「⑤感染症」「⑥個人情報保護」などの観点から、マニュアル等により職員への周知・理解が図られている。

2	3	
1	3	
2	1	
2	3	

2. 利用者等の状況に応じて専門的なサービスの提供

6 利用者等のアセスメントに基づき看護計画の作成と見直し

19 利用者の「①身体の状況（病名、症状、薬剤、睡眠、栄養、口腔、医療的ケアなど）に加え、「②精神的な状態（意向、不安、抑うつ状態など）」や「③認知機能の状態」、「④生活の状態（ADL、LADL、排泄、食事など）」さらに「⑤利用者を取り巻く社会的、環境的要因（社会活動、家族の状態、経済状況など）」を含めた、包括的なアセスメントを行い、看護計画に反映している。

3	2	
---	---	--

20 精神疾患のある利用者の「①精神的な状態（意向、不安、抑うつ状態など）」に加え、「②身体の状況（病名、症状、薬剤、睡眠、栄養、口腔、医療的ケア、合併症など）」や「③認知機能の状態」、「④生活の状態（ADL、LADL、排泄、食事など）」、さらに「⑤精神疾患のある利用者を取り巻く社会的・環境的要因（社会活動、家族の状況、経済状況など）」を含めた、包括的なアセスメントを行い、看護計画に反映している。

/	/	
---	---	--

21 小児の利用者の「①身体の状況（病名、症状、薬剤、睡眠、栄養、口腔、医療的ケアなど）」に加え、「②精神的な状態（意向、不安、抑うつ状態など）」や「③知的機能の状態」、「④生活（ADL、LADL、排泄、食事など）・学習の状態」、「⑤個別の成長・発達の状態」、さらに「⑥小児の利用者を取り巻く社会的・環境的要因（家族の状況、学校の状況、経済状況など）」を含めた、包括的なアセスメントを行い、看護計画に反映している。

2	2	
---	---	--

22 アセスメントの結果や作成された看護記録について、定期的に管理者やリーダー等が内容の確認やアドバイス等を行っている。

3	2	
---	---	--

23 利用者等が行う医療的ケア（緊急時の対応方法含む）について、個別性に合わせた説明用の資料を準備し、助言、指導している。

3	2	
---	---	--

7 在宅での日々の生活を支えるケアの提供

24 利用者が、自らの在宅生活や急変時の対応等について主体的な意思決定をすることができるよう、利用者や家族等の意向を踏まえた上で支援している。

2	2	
---	---	--

25 利用者等の希望に応じた看取りの実現のために、医師や多職種と連携できる体制が整っている。

1	1	
---	---	--

26 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を説明し、記録として残している。

1	/	
---	---	--

27 重症心身障がい児や小児がん等の利用者の看取りまでの日々を支えるケアができています。

2	2	
---	---	--

28 利用者の死後、事業所内でカンファレンス等を行い、提供したサービスや判断の妥当性等を振り返る機会を設けている。

/	/	
---	---	--

3. 多職種・多機関との連携

8 在宅生活の継続を支えるための多職種との連携促進

29	「褥瘡のある利用者」について、多職種、多機関との連携の必要性の判断ができ、情報共有・相談・協力要請を行っている。	/	/	
30	「緩和ケア（症状コントロール、医療麻薬の取り扱いなどを含む）」について、多職種・他機関との連携の必要性の判断ができ、情報共有・相談・協力要請を行っている。	/	/	
31	「精神疾患のある利用者」について、多職種、他機関との連携の必要性の判断ができ、情報共有・相談・協力要請を行っている。	/	/	
32	「小児の利用者」について、多職種・他機関との連携の必要性の判断ができ、情報共有・相談・協力要請を行っている。	2	2	
33	状態の変化等により入院の可能性がある利用者について、利用者等の意向を確認し、対応方針等を事前に主治医等と調整・共有している。	1	2	
34	サービス担当者会議等に参加し、情報共有や提案を行っている。	1	2	
35	他の訪問看護事業所や医療機関、介護事業所等を含む多職種・他機関からの研修等を受け入れている。	1	1	
36	「施設等に入居中の利用者」について、多職種との連携を図り情報共有・相談・助言を行っている。	1	/	
37	地域において多職種間でICTを活用した情報共有を行っている。	1	3	

9 円滑で切れ目のないケアの提供

38	退院、退所前に利用者の状況をアセスメントし、円滑な在宅生活への移行のために準備を行っている。	1	1	
----	--	---	---	--

4. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画

10 地域への積極的な展開

39	事業所の情報や訪問看護が果たす役割等について、地域住民向けに情報発信を行い、また、幅広い相談を受ける仕組みがある。	1	1	
11 40	自治体における地域包括ケアシステムの構築にかかる方針や計画を理解し、関連する会議・事業等への積極的な参画を通じて、地域包括ケアシステムの構築に貢献している。	1	2	
41	行政やボランティア等が行っている、認知症の人が安心して暮らしていける地域づくりの取組みに積極的に参加している。	1	2	
42	誰でも安心して暮らせるまちづくりのため、地域における訪問看護事業所間のネットワークの構築にかかわり、積極的に参加をしている。	1	1	

5. 指標

12 事業所の状況

1 総職員の実人数

3	5		

	2	2		
	0	0		
従	4	/	/	
業	職種 (看護師)	2	1	
員	職種 (看護補助者)	1	2	
	職種 ()	/	/	
	5	1	2	
	6	0	0	
	7	0	0	
資	8	0	0	
格	9	0	0	
数	10	0	0	
	11	0	0	
	12	1	1	
業	13	6	6	
	14	有	有	
	15	0	0	
	16	7	10	
届	17	7	10	
出	18	0	0	
状	機能強化型訪問看護管理療養費 1 (医療保険)	0	0	
況	機能強化型訪問看護管理療養費 2 (医療保険)	0	0	
	機能強化型訪問看護管理療養費 3 (医療保険)	0	0	
	19	0	0	
以	20	/	/	
下	13			
寺	23	7	11	
	24	7	11	
	25	0	0	
	26	0	0	
	27	7	11	
利	28	0	0	
用	29	0	1	
者	30	2	3	
	31	0	0	
	32	0	0	

- 33 小児利用者数（18歳以下）
- 34 精神科訪問看護基本療養費算定者数
- 35 死亡者総数
- 36 死亡者数の内、在宅死亡者数
- 死亡者 37 内、ターミナルケア療養費算定者数（医療保険）
- 38 内、ターミナルケア加算算定者数（介護保険）
- 39 死亡者総数の内、在宅以外での死亡者数
- 40 内、ターミナルケア療養費算定者数（医療保険）
- 41 内、ターミナルケア加算算定者数（介護保険）
- 14 地域への取り組み状況
- 42 入退院時の情報共有に関する会議等への参加数
- 43 地域住民からの相談件数
- 44 地域連携会議などへの参加数
- 45 訪問看護事業所間のネットワーク活動への参加回数
- 46 グループホームや特別養護老人ホームとの契約数
- 47 就学児童への支援（学校との契約など）
- 48 地域における事業所等への参画（行政の行っている事業等）
- 49 ヘルパー事業所との契約数（喀痰吸引・定期巡回）

5	6		
0	0		
0	0		
0	0		
0	0		
0	0		
0	0		
0	0		
0	1		
0	0		
0	2		
0	0		
0	0		
1	0		
0	0		
0	0		